

# 2013年9月議会特集

9月定例議会は、8月26日から9月19日まで開かれ、市長提案の49議案、議員提案の条例1件、意見書7件、決議案1件について審議しました。日本共産党甲賀市議団は、市政の問題点を追及、市民の要求実現へ積極的に発言しました。



山岡議員 安井議員 小松議員 小西議員

## 議案提案権生かして積極的に意見書提案

日本共産党甲賀市議団は、議案提案権を生かして5件の意見書と決議案を提案しました。どれも暮らしと平和を守る上で大事な内容なのに、清風クラブ等の議員は、討論もなしに反対したため賛成少数で不採択に。

主な議案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
24年度一般会計決算認定	市長	脚 藤男	安井直明	●	○	○	○	○
24年度国民健康保険特別会計決算認定	市長	鶴飼 勲	小西喜代次	●	○	○	○	○
24年度後期高齢者医療特別会計決算認定	市長	鶴飼 勲	小西喜代次	●	○	○	○	○
24年度介護保険特別会計決算認定	市長	橋本律子	小西喜代次	●	○	○	○	○
25年度一般会計補正予算	市長	討論なし		○	○	○	○	○
甲賀市議会基本条例制定	委員長	討論なし		○	○	○	○	○
「地方交付税削減」問題に関する地方財政の充実・強化を求める意見書	森嶋克己	討論なし		○	●	○	○	●
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	服部治男	討論なし		○	○	○	○	○
社会保障制度改革国民会議の最終報告の撤回を求める意見書	山岡光広	小西喜代次	なし	○	●	●	●	●
東京電力福島第一原発放射能汚染水海洋流出の抜本的解決を求める意見書	山岡光広	小松正人	なし	○	●	○	○	●
ブラック企業への厳正な対処を求める意見書	安井直明	山岡光広	なし	○	●	○	○	●
オスプレイの全機撤収と追加配備の撤回を求める意見書	小松正人	山岡光広	なし	○	●	●	●	●
「集団的自衛権」行使容認の憲法解釈変更に対する反対意見書	小西喜代次	安井直明	加藤和孝	○	●	○	○	●
橋下徹大阪市長の慰安婦問題等に対する発言の撤回を求める決議	安井直明	小松正人	なし	○	●	●	●	●

# 「甲賀市議会基本条例」全会一致で採択

議員と議会のあり方などを定めた「議会基本条例」が全会一致で採択、制定されました。

市民の立場から要求実現、市政チェック

## 日本共産党 積極的に発言 鋭く迫る

平成24年度各会計決算認定を中心に議論された9月定例議会。日本共産党は、安井直明、小松正人、山岡光広、小西喜代次の各議員が、議案質疑や一般質問、委員会審議などで積極的に発言。市民の利益を守る立場から、要求実現と市政をチェックしました。

決算認定にあたっては、「執行済み」としないで、市民の大切な税金が市民の暮らしと福祉を守ること、安全・安心のまちづくり、に役立つ予算執行になっっているか、具体的事例を示し、評価する点、問題点を明らかにし、代表して安井直明議員が反対討論しました。



## 一般会計決算集中審査

平成24年度甲賀市一般会計決算認定を審査する特別委員会は9月9日・10日・11日・12日の4日間集中審査を行いました。日本共産党からは、安井直明・小西喜代次両議員が市民の目線で予算執行をチェック。今後には生かすべき課題を指摘しました。

## 1年2ヶ月ぶりに全ての原発が停止



## もう動かすな原発 福井集会

唯一稼働していた大飯原発4号機が9月15日定期点検に入り、1年2ヶ月ぶりにすべての原発が停止しました。この日、「もう動かすな原発 福井集会」が開かれ、滋賀・湖南地域から大型バスで約60名が参加。小松・山岡両議員も参加しました(写真)。

**日本共産党**  
甲賀市議団ニュース  
2013年 9月30日 NO. 133



安井 直明  
土山町前野 541  
Tel 67-0147  
Fax 67-1660



小松 正人  
水口町名坂 128  
Tel 62-9652  
Fax 76-0150



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765



# 9月議会一般質問

任期最後の議会・9月議会一般質問には、20名の議員がたちました。日本共産党の山岡光広、安井直明、小西喜代次、小松正人の各議員（届出・発言順）の質問と答弁要旨は次の通り。

## 山岡光広議員



◆政治参加と投票率向上◆原発ゼロの日本へ◆特定健診受診率向上と健康づくり◆市道の未舗装・未改良、◆新甲賀病院とコミバス運行改善

**問** 参院選の期日前・不在者投票、病院や施設入所者の投票は。

**選管事務局長** 9199人。276人。うち病院・施設などは241人。

**問** 汚染水漏れなど原発事故の現状認識は。

**市長** ありとあらゆる関係者が知力を出しきり難局を乗り切る必要がある。収束とは言えない状況。

**問** 特定健診受診率が高いほど医療費が低いという傾向がある。受診率向上対策、歯科セット健診を。障害者施設健診に支援を。

**市民環境部長** 受診率向上にむけ、未受診者対策と保健指導に努める。

**健康福祉部長** 歯周病疾患検診は23年度が153人。24年度は138人。パノラマ撮影などが必要でセット検診は困難。歯科医師会による施設健診は何らかの形で支援したい。

**問** 市道の未舗装は？。年次計画をたて、生活道路優先で舗装すべき。

**建設部長** 市道の総延長1181キロメートルに対して未舗装部分は158キロメートル。2867路線のうち651路線。今後は生活道路として利用頻度の高い路線、生活に支障をきたす路線を優先的に順次整備できるように、検討し予算確保する。

**問** 参院選の結果から、景気や、憲法9条問題はどうか。

**市長** 憲法の3原則を守り、9条の趣旨を世界に広げることが大事。景気を良くするために賃上げが必要。

**問** 道路の法面除草、側溝の土砂除去に補助をしている自治体があるが、実施する考えはないか。

**市長** 将来的には研究課題として、現段階では現状で協力してほしい。

**問** 大野同窓会館の建替えを望む。

**市長** 地域振興事業として、関係者と協議しながら検討していく。

**問** 大野・今宿間の道路改修を進めよ。

**建設部長** 今年度は、公民館まで実施する。その後は、北側の側溝を、終了後、南側をする予定。

**問** 再生可能エネルギーを公共施設や、新庁舎に積極的活用をせよ。

**市民環境部長** 今年度、水口中学校に太陽光発電を、新庁舎や学校・公民館など検討を進める。

**問** 市民の願いでもある個人住宅への太陽光発電補助をせよ。

**市長** 住宅リフォーム制度で設置取り付け補助はしている。初期投資費用への補助はしない。

## 安井直明議員



◆参院選結果について◆市道法面の除草・側溝の土砂対策◆大野同窓会館の建て替え◆大野地先(片山・今宿間)の道路改修◆再生可能エネルギーの活用

## 小西喜代次議員



◆国保税引下げと制度改善◆生活保護引下げと他制度への連動◆特別養護老人ホームの増設◆信楽町・葛上川の浚渫工事の早期実施

**問** 高すぎて払えない国保税引き下げを。税額に対する認識はどうか。

**市長** 相応の軽減措置など生活に配慮した対応をしている。税額はいちがいには低いとはいえない。

**問** 市独自の国保税の軽減、窓口負担軽減の拡充で安心して利用できる制度に。

**市民環境部長** 現行制度の拡充は考えていない。

**問** 生活保護基準の引き下げに反対し、市の他制度への連動はやめよ。

**市長** 政府が適正に見直しを検討されるべきものと認識している。

**健康福祉部長** (他制度との連動は) 国の指針が示されたあとに検討する。

**教育部長** 今年度の就学援助制度には影響ない。

**問** 市の責任で特別養護老人ホームを増設し、待機者の解消を。

**市長** 27年開設で特養60床、老人保健施設100床開設の予定。第6期計画で反映させる。

**問** 27年度まで108床の現計画は、待機者解消の計画になっていないが。

**健康福祉部長** 他の施設サービスや制度の活用で対応していく。

**問** 信楽町勅旨の葛上川浚渫工事を。建設部長 早期対応を県に要望する。

## 小松正人議員



◆信楽高原鐵道の沿線整備と観光客誘致策◆コミバスの改善(巡回バスの新設、乗り継ぎ中継バス停の改善、バス停オーナー制度、通院時間帯のバス運行)

**問** 甲賀市の観光戦略を進める上で、信楽高原鐵道の魅力と存続への展望は。

**市長** 千分の33の勾配を登る鐵道は、市の観光資源、自主運営を指導する。

**問** 新社長としての抱負と今後の運営。

**副市長** 安全運行を最優先する。経営改善委員会の方策で観光誘客増を図る。

**問** 沿線の景勝美創出する整備計画。

**総合政策部長** 上下分離後、関係部局協議し、花木植栽や森林整備を取り組む。

**問** 鐵道利用して学校の作陶体験は。

**教育部長** 23小学校区のうち8校が鐵道を利用。信楽焼の地域学習続ける。

**問** 信楽「教育旅行」と鐵道セットの誘客は。

**産業経済部長** 作陶体験を教育旅行に取り入れ、鐵道ファンにつなげたい。

**問** 甲賀病院に通院する直通バスは、貴生川駅から旧307号に集中する。水口の東西地域は、不便極まりない。本水口を通る「西まわり」巡回バスを提案。

**総合政策部長** 巡回バスは困難。

**問** 本水口バス停、中央公民館バス停、古城が丘バス停の乗り継ぎを整備せよ。

**総合政策部長** 利用実態をみて判断。

**問** 松尾地先は朝の学生便だけとなった、甲賀病院まわりを復活せよ。

**総合政策部長** 検討をすすめている。